

提言第 2 号 急性肺血栓塞栓症に係る死亡事例の分析

事例番号：事例6

< 事例概要 >

脳神経外科

- ・被殻出血のため緊急入院した70 歳代の患者。BMI 29
- ・高血圧あり。開頭血腫除去術の約 2 週間後、間欠的空気圧迫法から弾性ストッキングに変更。
- ・手術の約 3 週間後、端座位訓練中に失神、胸部不快を訴え経皮的動脈血酸素飽和度（以下SpO₂）が低下するが、回復。リハビリテーションを継続していたが、膝痛、倦怠感の訴えと同時に血圧低下、頻脈、SpO₂ の低下が出現し、心肺停止。胸部CT で肺動脈に血栓を認め、急性肺血栓塞栓症と診断。救命処置を行うが同日死亡。